

令和3年12月20日
工業系高校人材育成コンソーシアム千葉
会長 小野祐司

1

令和3年度 職員研修会について

職員研修会は、以下のとおりでした。

日 時：令和3年10月15日（金）14：50～16：10

実施形態：WEB会議 Zoomを利用

主 催：工業系高校人材育成コンソーシアム千葉

対 象：千葉県立工業系高校の職員

研修内容：課題研究基礎コース

(1) 基本的な研究手法の概説

(2) ポスター作成の際の留意点

講 師：千葉大学大学院工学研究院 助教 小岩健太先生

工業系高校人材育成コンソーシアム千葉の主催で職員研修会を開催し、生徒の課題研究における指導方法について講師の先生から学びました。この職員研修会はこれまで3回実施し、受講した先生方から好評だったことから今年度も継続して開催しました。今年度はZoomを利用しオンラインで開催しました。

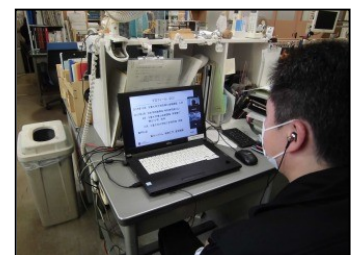
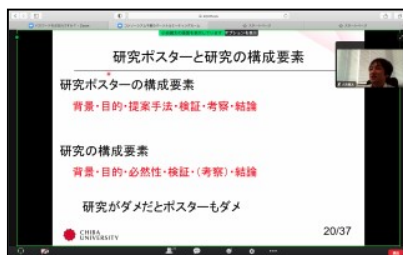
研究ポスターは生徒だけではなく、教員も一緒に作成するということが非常に重要であるということでした。生徒に指示して立派な研究と、立派なポスター作成はほぼ不可能、高校では指導するという側面が強いと思うが、心のどこかに「自分も一緒に作成をする」という気持ちを持ってもらいたいとお話をされていました。

一般的なポスターは、「見た人にいかに良い印象を与えるか」に重きを置くが、研究ポスターは議論をするために使用するものであり、「見た人がその研究内容を理解し、ディスカッションする」ことが研究ポスターの目的となります。

研究ポスターの構成要素は「背景、目的、提案手法、検証、考察・結論」の6つから成り、ポスター1枚に対してこの6つを堅持すれば良いポスターが出来上がるということでした。

高校の先生方は多忙だと思いますが、課題研究は研究内容について生徒と議論し、ポスター制作から発表まで関わると、生徒にも先生方にも良いものが作り上げられるでしょうとお話を頂きました。

最後に、過去の生徒研究発表会に参加した班の研究をもとに解説をしていただきました。



2

令和3年度 千葉県高等学校産業教育フェアについて

令和3年度千葉県高等学校産業教育フェアの内容は、以下のとおりです。

日 時：令和3年10月24日（日）10：00～15：00

会 場：きぼーる（アトリウム）

主 催：千葉県高等学校産業教育フェア

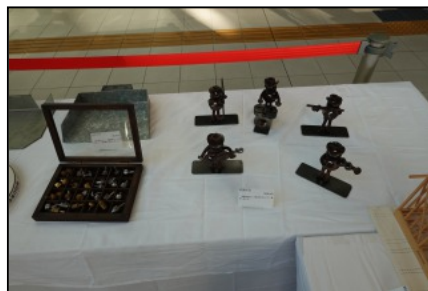
千葉県特別支援学校ものづくりフェア実行委員会

後 援：千葉県産業教育振興会、千葉県教育委員会、千葉市教育委員会

産業教育フェアは、県内9分野、工業・農業・商業・水産・家庭・福祉・看護・情報・総合学科と特別支援学校が参加し、県民に産業系の学科と特別支援学校の取り組みや、作品や実演などにより学習内容を発表し、産業教育の魅力をお伝えする展示会を開催しています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は県内の産業系高等学校・特別支援学校の活動状況や学科紹介の発表のみとなりましたが、専門的な学習内容を分かりやすく紹介していました。

工業系学科は、各学科の製作物（作品）の展示がありました。体験では、電気びりびり棒や電子サイコロ、コマ回し等があり、地域の方々が立ち寄り、工業系学科を身近に感じていただきました。



3

コロナ禍の採用活動についてのアンケート調査

企業会員の皆様のコロナ禍による採用活動の取り組みに関する調査を実施しました。これまでの採用活動と、新型コロナウイルス拡大後の採用活動の違いや、新しく始めた取り組み等をお答えいただきました。企業会員の皆様、アンケート調査に御協力いただきありがとうございました。

大変貴重な内容が寄せられ、学校側といたしましては進路指導に大いに参考になりますので、コンソーシアム便りに反映させていただきます。工業系高校の先生方は、進路指導の参考にしてください。

ワーキンググループ会議の実施を予定していましたが、コンソーシアム便りの掲載をもって代えさせていただきます。

【採用活動は変わりましたか？】

- ・変化なし。
- ・基本的にリアルな面接を最小にしている。高校生の場合は、来社してもらい、社内間をPC繋いで行っている。大卒以上は、すべてPC使用で行っている。従来ワークショップ的な試験も行っていたが、現在は中止。高校生については、従来どおりの試験を実施している。
- ・活動（行動）範囲を制限せざるを得なかった。
- ・1次募集8月頃は新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言下であったことから職場見学会はWEB形式での開催とした。2次募集10月初旬頃は緊急事態宣言も解除となり職場見学

会が実施できるようになった。弊社のことを知って、受験していただくことはすごく重要と考えている。尚、3次募集時では「弊社の受験を検討されていない学生の皆様も、他社を知る良い機会」として案内させて頂いた。

- ・採用見合わせになった。

【面接での質問事項は変わりましたか？】

- ・特に変わってはいないが、表情が見えにくい点、マスク等で表情が見えないことは、相互に不利であると感じる。会話的な面談はできず、一問一答のやり取りなので、要領よく話す方が良く見える。質問も簡潔にまとめることになるので、画一的な質問になりやすい、聞き手の我々も手探り状態であった。
コロナ禍以降も、地方の方などの為にも、継続することを考えているので、面接のやり方も再構築するつもりだ。

【これからの時代にどのような人材を求めますか？】

- ・明るく、元気で協調性のある方、一歩立ち止まり、前後の状況を確認できる方。
- ・コミュニケーションをうまく取りながら、自分だけではなく周りにも影響を与えて、みんなが自分事になって取り組ませる人材。
- ・前向きで探究心がある人、自主性は当然として、主体的な人。
- ・基本的な考えは変わらず、誠実な方だと考えている。しかし、コロナ禍にあっては、コミュニケーションの不足、人との交流機会を絶ったことで、マイナス思考の方が増えたように思う。プラス思考で仕事をこなしていた方も、どこことなく元気がない気がする。メンタル的に強靱な心を持つ人はこれから重要になると思う。
- ・心身ともに健康で規律とマナーを遵守できる人材。自ら考え主体的に行動できる人材。困難なことにも諦めずに取り組める人材、固定観念に捕らわれず創造力豊かな人材等。
- ・自律的な思考、行動に加えて状況に応じて自身の対応を考察できる人材。
- ・ものづくりに興味をもっている人。ルールを守り、守らせられる人（Yes/Noがいえる）
- ・誠実で仕事に関して嘘が無く自分から積極的に課題を改善し、報連相がいつでもできる者。
- ・ものづくりをしたい気持ち、想いを全面に出せる人材。

【コロナ禍（緊急事態宣言等）で困ったことがあれば教えてください。】

- ・例年は現物ツアーを開催して、希望者の皆さんに現物を見て覚悟を決めてもらいたいと考えているが、状況によっては開催しづらくなって、提供する情報が少なくなってしまうこと。
- ・企業説明会等、我々からアピールする機会が激減したことで、今までの繋がりだけで求人となった。本来会社説明会などで、生徒さんと直接話せる機会がないことは、興味や抱えている不安など見えないこと。生徒さんにアピールすることができない事が大きい。
メンターの活動ができなかったことで、やはり離職する2年生が発生、5年以内の離職者ゼロを掲げていたが、今期離職者を出してしまった。以前にもミスマッチから離職を考える方は少なからずいたが、何とか頑張っていた。高校卒者での離職は大変重く受け止めている、メンターの活動は非常に有効性があると確信した。
- ・訪問（求人票持参）不可の学校があり、進路指導の担当者へ直接求人内容の説明ができなかったこと。
- ・企業・工場見学について大人数での受入れが困難となっていること。

【コロナ禍により、新たに取り組んだ事例があれば教えてください。】

- ・徹底的な感染対策（体調管理チェック、三蜜の回避、防護具の模範着用等）
- ・集合研修・メンター活動等ができない。このことから、バーチャルでの研修、ビデオ視聴などが中心になっている状態。そこで独自で動画制作を始めた。独自の教育方法にこだわりたいので、手間はかかりますが進めていくつもりです。また、小テスト的な課題を作成し実施しています。「クモン」的なプリントを作成し実施している。
- ・オンライン会議や、応募前職場見学会のWEB形式で実施。

令和3年度第37回千工研総合技術コンクールは、令和3年11月27日に県立京葉工業高校を会場に開催されました。各部門においては、各高校の代表として参加した生徒たちは真剣に取り組んでおり、今までの成果を発揮していました。

主催：千葉県高等学校工業教育研究会

共時：令和3年11月27日（土） 9：30～15：30

会場：千葉県立京葉工業高等学校

参加校：京葉工業、千葉工業、千葉工業（定）、市川工業、清水、下総、東総工業、
茂原樟陽、館山総合、君津青葉

コンクール参加者数は以下のとおりです。

系列	部 門	参加校（定時制含む）	参加生徒数
機械	溶接	9 課程	17 名
	機械設計製図	8 課程	16 名
電気	電気工事	7 課程	14 名
	電子回路工作	7 課程	16 名
化学	化学分析	5 課程	10 名
建設	測量	3 課程	12 名
	建築設計製図	3 課程	12 名
全科	計算技術	7 課程	21 名
	ロボットコンテスト	5 課程	18 名
	ライントレースカー	7 課程	22 名
参加生徒合計		9校 11 課程	158 名

今後の予定

今年度の第2回運営委員会・総会、生徒研究発表会は、新型コロナウイルス感染予防等の観点と、現代産業科学館の人数制限により、次のとおりに変更します。

★第2回運営委員会・総会

- ・現代産業科学館での実施を中止し、実施形態を変更して開催します。会員の皆様への詳細は、後日御案内します。

★第8回生徒研究発表会

- ・現代産業科学館での実施を中止し、昨年同様に、動画撮影によるホームページ開催を行います。
- ・開催期間は令和4年2月14日（月）から2月25日（金）です。
- ・工業系高校の先生方へ
参加チーム動画提出期限は、令和4年2月7日（月）までとなります。

工業系高校人材育成コンソーシアム千葉事務局
事務局長（千葉工業高校教頭）川口憲治郎
TEL 043-264-6251 FAX 043-268-5524